

第4回優秀女子学生賞 副賞のご紹介

2014年度に『日本木材学会優秀女子学生賞』が創設されました。この賞は木材学とそれに関連する分野で、優れた研究業績を収め、将来を嘱望される本学会女子学生会員に毎年(原則)2名以内に授与されるものです。この賞の詳細とこれまでの受賞者、副賞については過去のウッドィエンスをご覧ください。

賞の詳細と第1回副賞 http://www.jwrs.org/woodience/mm036/13_Fukusyou.pdf

第2回副賞 <http://www.jwrs.org/woodience/mm039/12Fukusho039.pdf>

第3回副賞 <http://www.jwrs.org/woodience/mm042/11Joshi42.pdf>

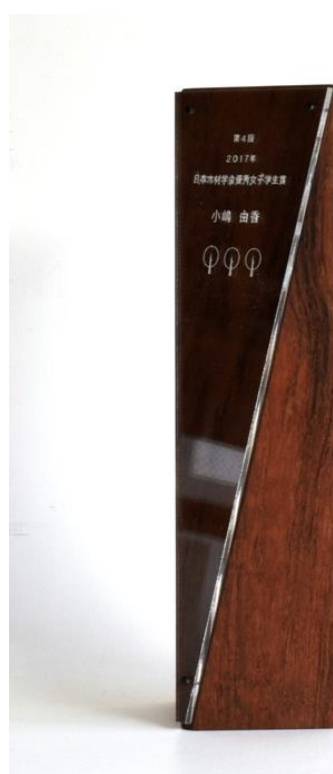
本年度は、第68回日本木材学会京都大会の会期中の3/15に、学会賞授与式が開催され、優秀女子学生賞は小嶋 由香 氏(東京農工大学連合農学研究科)、洪井 宏美 氏(北海道大学大学院農学院)、錢 致瑩 氏(東京大学大学院農学生命科学研究科)の3氏に授与されました。そこで、本年度の優秀女子学生賞の副賞について、簡単にご紹介させていただきます。

本年度も 副賞作成のための素材を(株)梶本銘木店様と(一社)木と住まい研究協会様からご提供いただきました。本年は チーク材を頂きました・・・というか、梶本銘木店様で、伐採後あまり陽に当たっていない少し緑がったチーク材が、私たちを待っていてくれました。(作品が仕上がるころにはチーク独特のいい色合いになりました。)

制作に関しましては、本年度は昭和女子大学環境デザイン学科の中田士郎准教授にお世話になりました。制作は昭和女子大学環境デザイン学科中田研究室、デザインは森田百音(昭和女子大学3年)、ご指導はナカダシロウ先生でした。

(株)梶本銘木店様と(一社)木と住まい研究協会様 そして中田先生、森田さんと研究室の皆さま ありがとうございます。

今年の作品のタイトルは「Day by Day」です。以下は中田研究室よりいただいたコメントをまとめたものです。



<Day by Day>

「チーク(teak)」は、世界3大銘木の1つに数えられ、木目が美しく、材質は堅く、伸縮率が小さく、天然の油成分があって水にも強く、世界で2000年以上も愛されている銘木です。また、年月ともにさらに深みを増す色味にクイーンエリザベス2世号やオリエント急行といった豪華客船・高級列車も内装材などに使用しています。現在そのほとんどが伐採禁止とされ輸入も制限されているため大変高価な材料となっています。

そんなチークの表情を活かすため最小限のカットを施したトロフィーをデザインしました。受賞者のみなさんの手もとで、ともに深みを増して、成長して欲しいとの想いをこめて制作いたしました。日々の積み重ねが、成長に結びつく……Day by Day……そんなイメージです。



デザイン系の若手の皆様から研究職を目指す若手へ、気持ちを込めて作成いただくこの企画は、多くの皆様のご協力でなりました。本当にありがとうございました。そして、本年度受賞された皆さまと今までの受賞者皆様の今後の活躍と、この賞の発展をお祈りしたいと思います。

中山 榮子

(男女共同参画担当理事、ダイバーシティ委員会委員長、昭和女子大学・院教授)